



確かな学力の向上をめざして【4月】

どの子どもも「楽しく学校生活を送りたい」、「楽しく学習したい」、「勉強がわかるようになりたい」と思っています。子どもたちの充実した学校生活のために、教師が心がけなければならないことを再確認しましょう。

■教師の姿勢 4つのポイント

1 児童生徒の理解に努める

- 一人一人の表情に目を向け、その変化を捉えましょう
- 一人一人に寄り添うために、教師から意図的に声をかけましょう
- 話をするときは、「聞き上手」になりましょう
「仕事の手を止める」「表情を見ながら」等



2 教育活動を見直し工夫に努める

- どんな力を育成するのかを意識して授業改善を進めましょう
 - ・子どもの実態を把握し、どのような力を育成するのかを明確にした授業改善
 - ・授業後に、児童生徒に力がついているか振り返り、授業改善につなげる
- 年間の指導内容を意識して教育活動を進めましょう
 - ・教科指導、学級経営等が計画的に進んでいるかを定期的に点検しましょう

3 チームの一員であることを自覚する

- どんな小さなことでも、「報告・連絡・相談」しましょう【ほう・れん・そう】
 - ・情報を共有することで、一人の子どもを見る目が増えます
 - ・相談することで、より良い解決方法が見つかります
- メモをとる習慣を身につけましょう（記憶より「記録」）
 - ・子どもの様子の記録は、その後の指導に役立ちます
- 他の教職員の良いところを学びましょう
- 謙虚な気持ちを忘れず、困ったときには助言を求めましょう



4 社会人としての自覚を常に持つ

- 状況に応じて、身なりを整えましょう
- 相手の立場に立った対応を心がけましょう
- 子どもにとって、よい大人のモデルになりましょう
 - ・「丁寧な言葉使い」、「時間を守る」、「清潔な服装」等



定期的に、自分の取組を「チェック」しましょう！
「学級づくり・人間関係づくりハンドブック」も参考になるよ！